

名古屋学芸大学大学院

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

- | | |
|--------------------------|----|
| ① 学生の確保の見通し | P3 |
| (ア) 定員充足の見込み | P3 |
| (イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 | P5 |
| (ウ) 学生納付金の設定の考え方 | P6 |
| ② 学生確保に向けた具体的な取組状況 | P7 |

(2) 人材需要の動向等社会の要請

- | | |
|--|----|
| ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） | P8 |
| ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 | P8 |

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

(ア) 定員充足の見込み

本研究科が長期的かつ安定的に学生の確保を図ることができる根拠として、以下の3点を挙げる。

根拠1：都市型キャンパスである本研究科の大学院キャリア看護教育に対する入学ニーズ

根拠2：本学の連携協定先である名古屋医療センター等からの入学ニーズ

根拠3：外部委託ニーズ調査（入学意向アンケート調査）の集計結果

1. 全国の看護学研究科への志願・入学状況

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」から集計した【資料1】によると、令和3年度時点で大学院看護学研究科（修士課程又は博士前期課程）は研究科数69校、入学定員数695名、志願者数595名、入学者数455名である。

これを5年前（平成29年度）の数値と比較した場合、入学定員充足率は78.2%→65.5%、1研究科当たりの入学定員数は10.7名→10.1名、1研究科当たりの入学者数は8.4名→6.6名と、いずれも減少傾向にあるものの、研究科数が50校→69校（38%増）、入学定員数が537名→695名（29.4%増）、志願者数は551名→595名（8.0%増）、入学者数が420名→455名（8.3%増）と全てにおいて増加しており、看護学分野における大学院志望者の増加が認められる。

本研究科の設置もこのような大学院看護学研究科への志願ニーズに応えるものである。

（※看護学を研究対象とする研究科は「看護学研究科」以外にも存在するが、上記では看護学研究科のみを記載した。）

2. 中部地区の看護学研究科への入学状況

東海地区4県には、看護学を学べる私立大学院（修士課程・博士前期課程）が12校あるが、看護学専攻を設置する大学院は8校である。

【資料2】によれば、この8大学の令和3年度の入学定員合計94名に対し入学者数は46名であり、入学定員充足率は48.9%、1研究科当たりの平均入学定員数は11.8名、1研究科当たりの入学者数は5.8名である。

定員を充足している研究科は少ないものの、入学定員自体が大きく設定されているケースが多いと思われる。平均入学者数が5.8名/研究科であることから、一定の入学者ニーズが存在することは確実であり、本学研究科が設定した入学定員6名（収容定員12名）も適切であり、十分に充足できると考えている。

3. 都市型キャンパスである本研究科に対する現職看護職の入学ニーズ

本研究科は名古屋市の中心部に位置する都市型キャンパスであり、最寄り駅の新栄駅はJR名古屋駅から地下鉄で6分、新栄駅からも徒歩5分のアクセスとなっている。

都心に立地することと、夜間週末開講及び長期履修制度の導入により、大学院入学ニーズが高い現職看護職を受け入れる体制が整っている。

本学が包括連携協定を結び、入学者と修了後の就職（復職）を想定する名古屋医療センターは、本研究科の新栄キャンパスから徒歩約20分、地下鉄利用で約15分の近接した距離にあり、勤務しながらの夜間や週末の授業の受講は十分に可能となっている。

4. 国立病院機構名古屋医療センター等からの入学者見込み

本学は、平成27（2015）年に国立病院機構名古屋医療センターと包括連携協定を締結し、現在に至っている。本学看護学部は名古屋医療センター敷地内に設置されており、臨地実習や卒業生の就職等も含めて、密接な関係を構築している。

今回の大学院看護学研究科の設置も、包括連携協定からの要請に基づくものであり、設置について名古屋医療センターからの賛同と全面的な協力を得ている。名古屋医療センターには令和3年度において500名弱の看護職員が在籍しており、その中から毎年一定数の看護職者が本研究科を志願することを想定している。

また、今回の看護学研究科設置に際して、この包括連携協定に沿った名古屋医療センターをはじめ、愛知、岐阜、三重、静岡の四県に設置される独立行政法人国立病院機構傘下で本学看護学部の臨地実習先施設となっている名古屋医療センター、豊橋医療センター、東名古屋病院、東尾張病院、長良医療センター、鈴鹿医療センター、天竜病院の東海四県下の機構に加え、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターからも、本研究科が設置された際には推薦入学枠を希望したいとの要望が寄せられている。

また、大学院進学に際して、独立行政法人国立病院機構には「研究休職制度」があり、地元の国公立大学大学院への進学について制度上運用されており、本研究科への進学についても条件を満たした場合に適用される予定である。

後述するが、名古屋医療センター等の9病院に勤務する現職看護職向け入学意向アンケート調査においては、回収した1,329名のうち、151名（11.4%）から「受験したい」、そのうち93名（7.0%）から「入学したい」の回答を得ており、入学定員6名については確実に充足できる見込みである。

5. 名古屋学芸大学看護学部からの入学者の見込み

本学は平成30（2018）年に看護学部看護学科（入学定員100名）を設置し、令和4年3月に卒業生1期生を輩出する予定である。本学看護学部は開設時より入学定員100名に対し、入学者数は平成30（2018）年度106名、平成31（2019）年

度106名、令和2（2020）年度107名、令和3（2021）年度108名を確保し、堅調な志願者確保の上で適切な入学者選抜が行われている。

その入学者数に対する志願者数は、平成30（2018）年度3,902名、平成31（2019）年度2,470名、令和2（2020）年度2,579名、令和3（2021）年度、1,771名であり、倍率（志願者数÷入学定員）の過去4年間の推移は39.0倍、24.7倍、25.8倍、17.7倍と高い比率を示している。

修士課程の開設は、学部入学生にとって卒業後の看護学の学修をさらに継続させる機会を提供するものである。専攻する学問領域に研究科があることは、入学生の学修意欲を高く保持できるとともに、質の高い学生を確保することに繋がる。

また、令和2（2020）年には別科助産学専攻（入学定員25人）を設置しており、同別科専攻からも研究科への志願者、入学者が見込むことができ、後述の入学意志を測定したニーズ調査によれば、本学の看護学部と別科助産学専攻からは、毎年2名程度の入学者が見込まれる。

（イ）定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

近隣の現職の看護職者及び本学看護学部、別科助産学専攻の在籍学生を対象に実施した下記の「入学意向アンケート調査」【資料3】【資料4】【資料5】の結果から、開設年度以降も長期的に入学者を確保できると判断した。

入学意向アンケート調査の概要と結果は以下の通りである。

入学意向アンケート調査の概要

調査目的	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称・令和5年4月設置構想中）の学生確保の見通しを測る。
調査時期	令和3年10月～12月
調査対象	調査① 病院等（愛知県・岐阜県・三重県・静岡県の9医療機関）の現職看護職【資料3】 調査② 本学看護学部及び別科助産学専攻の在学生【資料4】 調査③ 看護職（愛知県・岐阜県）へのインターネット調査【資料5】
調査方法	調査① 現職看護職の勤務先の看護部長等に依頼し調査を実施し回収 調査② 在学生に直接配布し学内で調査を実施し回収 調査③ インターネット調査を利用（対象はモニター登録した看護職）
回収件数及び入学希望件数	調査① 回収1,329名に対し「入学したい」回答者93名（7.0%） 調査② 回収426名（全学年）に対し「入学したい」回答者25名（5.9%） 回収100名（3年生）に対し「入学したい」回答者4名（4.0%） 調査③ 回収272名に対し「入学したい」回答者11名（4.0%）
調査実施	株式会社高等教育総合研究所 株式会社クロス・マーケティング（インターネット調査）

上記の通り入学意向アンケート調査は、①9病院に勤務する現職看護職向け（書面）、②名古屋学芸大学看護学部及び別科助産学専攻の在學生、③現職看護職向けインターネット調査の3つに分けて実施した。

現職看護職向け調査①【資料3】では、回答のあった1,329件のうち、151名（11.4%）が「(本研究科を)受験したい」とし、そのうち「入学したい」が93名（7.0%）、「併願校の結果等の状況により入学したい」が58名（4.4%）と回答した。

学部及び別科助産学専攻在學生向け調査②【資料4】では、全学年及び別科助産学専攻において回答のあった426名のうち、48名（11.3%）が「(本研究科を)受験したい」と回答し、そのうち「入学したい」が25名（5.9%）、「併願校の結果等の状況により入学したい」が23名（5.4%）であった。

本研究科の開設時に学部を卒業する現3年生においては、回答者100名中、「受験したい」に4名（4.0%）、その4名全員から「入学したい」との回答を得た。

愛知県、岐阜県の看護職を対象としたインターネット調査③【資料5】では、回答のあった272名のうち、11名（4.0%）が「(本研究科を)受験したい」と回答し、そのうち11名全員が「入学したい」と回答している。

以上により、現職看護職及び学部在學生（助産学別科在學生を悪夢）を合わせた合計129名（入学定員6名の21.5倍）より受験、入学意志の回答を得ていることから、入学定員6名を十分に上回る入学希望者を確認している。

特に看護職を対象としたインターネット調査③は、愛知県・岐阜県の現職看護職についてのランダムサンプリングに近い調査となっており、本研究科への客観的、長期的な志願者、入学者の見込みが示されていると言える。

（ウ）学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、学生の負担軽減、教育研究の質の保証、また本研究科の安定した運営等の観点から以下の金額水準に設定した。

[名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程学納金]

入学金①	100,000円
授業料・教育充実費②	955,000円
初年次納付金（①+②）	1,055,000円
2年間合計納付金（①+②+②）	2,010,000円

【資料6】に示す東海地区4県の看護系12大学院（修士課程・博士前期課程）の初年次納付金額の平均は1,075,833円であり、本研究科はそれを下回る水準に学納金を設定している。本研究科においては、大学院生研究室等での研究活動の環境整備、図書や学術雑誌、各種データベースの整備を通じて、教育研究の質の保証に努めることとする。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

本研究科では、現職看護職及び本学看護学部、別科助産学専攻の在学生に対して、積極的かつ効果的な方法で学生募集及び広報活動を実施する。

広報手段としては、大学院案内、リーフレット、ポスター、インターネット上のHP、SNS、各種媒体への掲載などを通じて、多角的な広報活動を行うとともに、オープンキャンパス、大学院説明会、個別説明会等を通じて、志願希望者に対しては対面（オンラインを含む）での説明を実施する。オープンキャンパス等については、状況に応じてオンライン開催も実施する。

国立病院機構名古屋医療センターなど、本学看護学部の実習施設である主要病院には、本学から病院に対し、本研究科の学生募集要項について詳細に説明するとともに、ポスターやリーフレットの配付等の本研究科の広報を依頼し、現職看護職の志願、入学につなげる計画である。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本研究科では、看護の現象を多角的な視点で捉え、高い倫理観とともに、高度な教育・研究能力や看護実践能力のもと、様々な課題を探究することにより看護学の発展と看護の質向上に貢献できる看護専門職を育成する。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本研究科は、以下に示す状況や調査結果により、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであるとともに、その修了生は、病院、福祉施設や看護師養成施設等の事業所への就職が十分に可能であると考えている。

1. 愛知県における人材需要

愛知県地域保健医療計画（平成30年3月公示・計画期間：平成30年度～令和5年度）によると、県内の看護師は年々増加しているが、少子高齢化の更なる進行や医療の高度化などにより、患者のニーズに応じたより質の高い看護が求められていることが、課題として挙げられている。看護の質の向上はすなわち医療安全の確保、医療サービスの改善につながる重要な要素である。

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の第6条には、看護師等の責務として、「保健医療の重要な担い手としての自覚の下に、高度化し、かつ、多様化する国民の保健医療サービスの需要に対応し、研修を受ける等自ら進んでその能力の開発及び向上を図るとともに、自信と誇りを持ってこれを看護業務に発揮するよう努めなければならない」とある。

愛知県においても平成15年から「愛知県看護研修センター」を設置し、専任教員養成講習会や新人看護研修会、院内教育担当者研修等を実施し、看護の質の向上に努めている。本研究科の設置と修了生の輩出は、愛知県等の地域の医療保健、看護の質の向上に資するものであり、その人材需要の要請に応えるものと考えている。

2. 修士学位を持つ看護職者の人材需要

公益社団法人日本看護協会による「継続教育の基準」（平成12年）及び「継続教育の基準 ver. 2」（平成24年）【資料7】では、「学習資源の基準」の<<人材>>の項目において、継続教育の「運営の責任者の選出基準」として「看護学または関連領域の修士号を持つことが望ましい」としている。

また同団体が、病院や介護老人保健施設などの管理者として必要な知識を持ち、患者・家族や地域住民に対して質の高いサービスを提供できるよう組織を改革し、発展させることができる能力を有すると認められた看護師を認定する「認定看護管理者」の認定要件【資

料8】として、認定看護管理者教育課程サードレベル修了者のほかは、「看護管理を専攻して修士号を取得している者」としている。

各医療機関や公的機関における継続教育において看護職の質の向上は図られるが、その教育者または組織の責任者には、修士学位レベルの水準が求められており、また看護の質の向上とともに、自らの教育能力やマネジメント能力、研究能力といったキャリア開発が必要とされている。以上に述べた修士課程修了者に対する社会的ニーズにより、本研究科修了者の人材需要が確認できる。

3. 看護教育者の人材需要

一般社団法人日本看護系大学協議会から令和元年8月に出された要望書【資料9】には、多様で複雑かつ深刻な健康課題に高度な知識と技術をもって自律的に対応できる高度実践看護師や、看護の人的資源を効率的に活用し安全な看護をマネジメントできる管理者、および看護学や看護実践の進歩・発展に資する教育研究者の育成は喫緊の課題であることとともに、看護教員の量的不足、教員数の充実も喫緊の課題であることが述べられている。

全国で看護系大学が増加し、教員の不足や高齢化が顕著になっており、看護実践能力、研究能力に加え、教育能力を備えた人材を育成する本研究科が果たす役割は大きいと考える。

4. 看護系大学に関する実態調査

日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会の協働実施調査報告『看護系大学に関する実態調査（2018年度状況調査）』（回答数277会員校）の中の「6. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の就職・進学状況」（本調査報告82頁）【資料10】によれば、修士課程修了生1,541名中、就職者は1,337名（86.8%）、進学者は104名（6.7%）、その他100名（6.5%）であった。就職者と進学者を合わせた割合は93.5%であり、看護系大学院修士課程の修了者における人材需要と就職の確実性が示されている。就職先としては、修士課程修了生1,541名のうち、895名（58.1%）が病院・診療所に、177名（11.5%）が大学、短大、研究機関等に就職している。

5. COVID-19以降の看護人材需要

2020年からの新型コロナウイルスCOVID-19による世界的なパンデミックは、これまでの社会生活や保健医療を激変させるとともに、いまだ収束には至っていない。

医療関係者には、通常の業務に加えて感染防御と医療資源の確保という大きな役割が課され、特に医療の最前線で業務に従事する看護職者に求められる役割は大きくなっている。

大学院において、最新の国際的な医療や看護の情報を身につけて看護研究や看護教育を修めた人材は、COVID-19以降の医療保健現場において強く求められる人材であると言える。

6. 採用意向アンケート調査の結果

本研究科の修了者の人材需要の見通しを測るため、下記の「採用意向アンケート」を実施した【資料11】。

採用意向アンケート調査の概要

目的	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称・令和5年4月設置構想中）の人材需要の見通しを測る。
調査期間	令和3年10月～12月
調査対象	・中部地区の病院、福祉施設、訪問看護ステーション ・中部地区の看護師養成施設（大学、専門学校）
調査方法	上記施設の看護部長、看護職採用担当者へアンケート用紙を郵送にて依頼し回収した。
依頼数	700事業所
回収件数	204件（回収率29.1%）
採用意向件数	「採用したい」回答事業所：63事業所（30.9%）
調査担当	株式会社高等教育総合研究所

上記調査において、回答のあった204事業所のうち、「(本研究科の修了者を)採用したい」の回答が63件（30.9%）あり、この63事業所に採用可能人数を確認したところ、本研究科の入学定員6人を超える合計137人の採用人数となった。

また、回答のあった看護師養成機関（看護専門学校、看護系大学）48校のうち、11校から「採用したい」（48校の22.9%）の回答があった。

以上のことから本研究科の設置は、社会的、地域的な人材需要を踏まえたものであるといえる。

学生の確保の見通し等を記載した書類（別添資料）

目 次

- 資料 1 : 全国私立大学看護学研究科（修士課程・博士前期課程）の年次推移
- 資料 2 : 東海地区 4 県看護系大学院（修士課程・博士前期課程）入学定員充足状況（令和 3 年度）
- 資料 3 : 入学意向アンケート調査報告書①
【現職看護職向けアンケート調査】
- 資料 4 : 入学意向アンケート調査報告書②
【学部・別科在学生向けアンケート調査】
- 資料 5 : 入学意向アンケート調査報告書③
【看護職向けインターネット調査】
- 資料 6 : 東海地区私立看護系大学院の学納金（2021 年度）
- 資料 7 : 日本看護協会「継続教育の基準 ver. 2」
- 資料 8 : 認定看護管理者の要件
- 資料 9 : 日本看護系大学協議会「要望書」
- 資料 10 : 「看護系大学に関する実態調査」2018 年度状況調査
- 資料 11 : 採用意向アンケート調査報告書

【資料1】全国私立大学看護学研究科（修士課程・博士前期課程）の年次推移

年度	研究科数	入学定員	志願者数	入学者数	入学定員 充足率	入学定員 /研究科	入学者数 /研究科
平成29年度	50	537	551	420	78.2%	10.7	8.4
平成30年度	57	606	592	466	76.9%	10.6	8.2
平成31年度	60	628	529	419	66.7%	10.5	7.0
令和2年度	64	656	600	426	64.9%	10.3	6.7
令和3年度	69	695	595	455	65.5%	10.1	6.6
令和3年度—平成29年度 差分	19	158	44	35	-12.7%	-0.7	-1.8

(出典：日本私立学校振興・共済事業団：私立大学・短期大学等入学志願動向)

【資料2】東海地区4県看護系大学院（修士課程・博士前期課程）入学定員充足状況（令和3年度）

所在地	立	大学	研究科	専攻	入学定員	入学者数	
愛知県	私	藤田医科大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	50	56	
愛知県	私	愛知医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	15	13	
愛知県	私	日本赤十字豊田看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	10	3	
愛知県	私	中部大学大学院	生命健康科学研究科	看護学専攻	6	2	
愛知県	私	豊橋創造大学大学院	健康科学研究科	健康科学専攻	6	4	
愛知県	私	日本福祉大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	10	3	
愛知県	私	人間環境大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	20	7	
静岡県	私	聖隷クリストファー大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	10	7	
岐阜県	私	岐阜医療科学大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	9	7	
岐阜県	私	岐阜保健大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	13	10	
三重県	私	四日市看護医療大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	10	1	
三重県	私	鈴鹿医療科学大学大学院	医療科学研究科	医療科学専攻	30	22	
計①（看護系以外の専攻も含む）					合計	189	135
					1研究科あたり	15.75	11.25
計②（看護学専攻のみ）					合計	94	46
					1研究科あたり	11.8	5.8

名古屋学芸大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）

入学意向アンケート調査

報告書①

【現職看護職向けアンケート調査】

令和3年12月24日

1. 入学意向アンケート調査 概要

調査の目的	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称・令和5年4月開設に向け設置構想中)の学生募集のニーズを、病院に勤務する現職看護職へのアンケートを用いて計測した。
調査期間	令和3年9月～11月
調査方法	現職看護職へのアンケート調査の承諾を得た9病院にアンケート調査用紙を郵送し、勤務する現職看護職への配布を行い、個別に回答の上、直接返送を得た。(書面記入式)
調査対象 (依頼先)	①独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター：396人 ②独立行政法人国立病院機構東名古屋病院：100人 ③独立行政法人国立病院機構東尾張病院：50人 ④独立行政法人国立病院機構長良医療センター：124人 ⑤国立研究開発法人国立長寿医療研究センター：124人 ⑥独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター：199人 ⑦地域医療機能推進機構中京病院：221人 ⑧国家公務員共済組合連合会名城病院：86人 ⑨医療法人資生会八事病院：29人 合計：1,329人
調査内容 (主な質問項目)	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の基本情報、保有資格、最終学歴 ・名古屋学芸大学大学院看護学研究科修士課程への受験意向及び入学意向
有効回答件数	1,329件
調査実施主体	株式会社高等教育総合研究所

2. 入学意向アンケート調査 集計表

調査種別		現職看護職向け入学意向調査（書面・郵送）			
調査対象者		9 病院に勤務する現職看護職			
		回収合計		1,329	100.0%
問	設問	選択肢		回答数	割合
問 1	あなたの性別をお答えください。 (択一回答)	1	女性	1,179	88.7%
		2	男性	150	11.3%
			合計	1,329	100.0%
問 2	あなたの年齢をお答えください。 (択一回答)	1	10 代	3	0.2%
		2	20 代	516	38.8%
		3	30 代	367	27.6%
		4	40 代	283	21.3%
		5	50 代	151	11.4%
		6	60 代以上	9	0.7%
			合計	1,329	100.0%
問 3	あなたがお住まいの都道府県をお答えください。 (択一回答)	1	愛知県	1,186	89.2%
		2	岐阜県	129	9.7%
		3	三重県	4	0.3%
		4	静岡県	10	0.8%
		5	その他	0	0.0%
			合計	1,329	100.0%
問 4	あなたの職種をお答えください。 (択一回答)	1	看護師として勤務	1,310	98.6%
		2	助産師として勤務	19	1.4%
		3	保健師として勤務	0	0.0%
		4	その他	0	0.0%
			合計	1,329	100.0%
問 5	あなたの最終学歴をお答えください。 (択一回答)	1	高等学校卒業	31	2.3%
		2	専門学校卒業	960	72.2%
		3	短期大学卒業	71	5.3%
		4	4 年制大学卒業	241	18.1%
		5	大学院（修士課程）在学中または修了【調査終了】	19	1.4%
		6	大学院（博士課程）在学中または修了【調査終了】	0	0.0%
		7	その他	7	0.5%
			合計	1,329	100.0%

問 6	あなたの実務経験年数をお答えください。 (択一回答)	1	3年未満	266	20.0%
		2	3年以上10年未満	445	33.5%
		3	10年以上20年未満	333	25.1%
		4	20年以上	285	21.4%
			合計	1,329	100.0%
問 7	あなたは大学院への進学を検討していますか。 (択一回答)	1	将来的には進学したい	158	11.9%
		2	すぐに進学したい	14	1.1%
		3	進学は考えていない	1,157	87.1%
			合計	1,329	100.0%
問 8	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称)を受験したいと思いますか。(択一回答)	1	受験したい【→問9】	151	11.4%
		2	受験しない【終了】	1,178	88.6%
			合計	1,329	100.0%
問 9	【問8「受験したい」の回答者のみ】 名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称)を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。(択一回答)	1	入学したい	93	7.0%
		2	併願校の結果等の状況により入学したい	58	4.4%
			合計	151	11.4%
問 10	【問8「受験したい」の回答者のみ】 あなたが大学院で専攻したい分野をお答えください。 (択一回答)	1	母性看護学・助産看護学分野	8	0.6%
		2	小児看護学分野	8	0.6%
		3	成人看護学・老年看護学分野	30	2.3%
		4	精神看護学分野	13	1.0%
		5	地域・在宅看護学分野	23	1.7%
		6	災害看護学分野	19	1.4%
		7	看護管理学分野	22	1.7%
		8	看護教育学分野	28	2.1%
			合計	151	11.4%

3. 入学意向アンケート調査 結果の要点

1) 回答者の属性（問1、問2、問3、問4、問5）

回答者の男女比率は女性が1,179人(88.7%)、男性が150人(11.3%)、居住地は愛知県が1,186人(89.2%)、岐阜県が129人(9.7%)、職種は1,310人(98.6%)が看護師、19人(1.4%)が助産師として勤務し、回答者全員1,329人(100%)が看護師資格を有している。年齢は20代が516人(38.8%)、30代が367人(27.6%)、40代が283人(21.3%)、50代が151人(11.4%)とバランスよく分布している。最終学歴は専門学校卒業が960人(72.2%)、4年制大学卒業が241人(18.1%)であった。大学院在学中または修了者19人(1.4%)は、入学意向の設問からは排除した。本研究科では、4年制大学卒業者ではなくとも、一定の看護実務経験を条件に出願資格認定審査を行う予定であることから、専門学校卒業者も志願・入学者として想定している。以上により、回答者の属性は、現職看護職を主な入学者として想定している本研究科の調査対象として適切であると言える。

2) 大学院への進学意志（問7）

回答者のうち14人(1.1%)が「大学院にすぐに進学したい」、158人(11.9%)が「将来的には進学したい」と回答した。合わせて172人(12.9%)が大学院への進学希望があることが示された。

3) 本研究科への受験・入学意志（問8、問9）

回答者のうち151人(11.4%)が「(本研究科を)受験したい」と回答した。「受験したい」の回答者151人のうち、93人(設問回答者の61.6%、全アンケート回答者の7.0%)が、「(本研究科に合格した場合)入学したい」と回答した。本研究科の入学定員は6人であり、それを十分に上回る受験・入学意向が示された。

4) クロス集計

問7の「大学院にすぐに進学したい」回答者(14人)、問8の「(本研究科を)受験したい」回答者(151人)、問9の「(本研究科に)入学したい」(93人)のクロス集計を行ったところ、10人が該当した。この10人は、本研究科への受験・入学意向が最も強い集団であると思われる。

4. 入学意向アンケート調査 アンケート用紙

本アンケートの調査用紙は、次ページ以降(回答用紙2ページ、概要用紙1ページ、合計3ページ)に示した。



名古屋学芸大学 大学院看護学研究科修士課程（仮称） 入学意向アンケート調査（現職看護職向け）

アンケート対象：「現職看護職」の皆様

名古屋学芸大学では2023（令和5）年4月に大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置を構想しています。本研究科は、看護職の方を入学者として受け入れ、夜間や週末の授業開講により看護職として働きながら通学し、2年間で大学院を修了（修士学位）できる課程とする計画です。本学ではこのアンケート調査を通して看護職の皆さまからご意見をお聞きし、大学院の構想内容に反映したいと考えています。

本アンケートは無記名調査であり、皆様の個人情報収集し利用することはありません。

アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

※別紙の名古屋学芸大学大学院看護学研究科修士課程（仮称）の概要をご覧の上で、以下の設問にお答えください。

※本アンケートは看護師資格を持つ方を対象としています。看護師資格を持たない方は回答をご遠慮ください。

問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

女性 男性

問2 あなたの年齢をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

問3 あなたがお住まいの都道府県をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

愛知県 岐阜県 三重県 静岡県 その他

問4 あなたの職種をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

看護師として勤務 助産師として勤務 保健師として勤務 その他

問5 あなたの最終学歴をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

高等学校卒業

専門学校卒業

短期大学卒業

4年制大学卒業

大学院（修士課程）在学中または修了 → アンケートは終了です。ありがとうございました。

大学院（博士課程）在学中または修了 → アンケートは終了です。ありがとうございました。

その他





問 6 あなたの実務経験年数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 3年未満 3年以上10年未満 10年以上20年未満 20年以上

問 7 あなたは大学院への進学を検討していますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 将来的には進学したい すぐに進学したい 進学は考えていない

2023年に設置構想中の名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）は、看護職として働きながら夜間や週末に通学でき2年間で修了（修士学位）できる大学院です。また、専門学校卒や短期大学卒の方も、一定期間以上の実務経験がある場合は、受験資格を本学が事前に認定することで、本研究科を志願し受験することが可能になります。

問 8 名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）を受験したいと思いませんか。（あてはまるもの一つにマーク）

- 受験したい（→ 問9以降にお答えください。）
 受験しない → アンケートは終了です。ありがとうございました。

問 9 名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思いませんか。（あてはまるもの一つにマーク）

- 入学したい 併願校の結果等の状況により入学したい

問 10 あなたが大学院で専攻したい分野をお答えください。（もっともあてはまるもの1つにマーク）

- 母性看護学・助産看護学分野 小児看護学分野 成人看護学・老年看護学分野
 精神看護学分野 地域・在宅看護学分野 災害看護学分野
 看護管理学分野 看護教育学分野

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。



アンケート回答の前に以下の新研究科の概要をお読みください。



名古屋学芸大学

大学院看護学研究科看護学専攻修士課程

(仮称・2023年4月開設に向け設置構想中)

概要

開設時期：2023年4月
 開設場所：名古屋市中区新栄1-9-6
 修業年限：2年
 入学定員：6名[男女共学](収容定員：12名)
 取得学位：修士(看護学)

養成人材像

【養成人材像】

看護の現象を多角的な視点で捉え、高い倫理観とともに、高度な教育・研究能力や看護実践能力のもと、様々な課題を探究することにより看護学の発展と看護の質向上に貢献できる看護専門職を育成します。

身につける能力

【本課程で身につける3つの能力】

看護研究の理論的基盤と方法論を身につけるとともに、看護の現象を多角的な視点で捉え、様々な課題解決や看護実践のための研究を行うことで、看護学の発展に貢献できる研究能力

科学的かつ体系的な幅広い視点から看護教育をとらえ、看護を学ぶ対象への指導力を高め看護の質の向上に貢献できる教育能力

専門分野の課題に対し、専門的知識と科学的根拠に基づき、高い倫理観とともに多職種との連携や協働を通じて課題解決に貢献できる高度な看護実践能力

領域構成(3領域8分野)

発達看護学領域	母性・助産看護学分野
	小児看護学分野
	成人・老年看護学分野
広域看護学領域	精神看護学分野
	地域・在宅看護学分野
発展看護学領域	災害看護学分野
	看護管理学分野
	看護教育学分野

看護管理学分野で修士の学位を取得すれば、認定看護管理者の資格取得試験を受けることができます。現在管理職でない場合は、修了後3年の師長経験が必要となります。

働きながら学べる大学院

【働きながら学べる大学院】

- (1) 本研究科は、入学者として現職看護職を受け入れる予定です。
- (2) 平日昼間の他に、夜間と土曜日の授業も設定しており、働きながら通学することが可能です。
- (3) 長期履修制度の導入により、最長4年間の在学による履修計画が可能です。
- (4) 名古屋の中心部(新栄)にある都市型キャンパスのため、アクセスが容易です。
- (5) 専門学校や短期大学卒業の看護職の場合、一定期間以上の実務経験等の実績があれば、本学による出願資格の認定を受けることで、本大学院の受験が可能になります。

修了後の進路

修了後は以下のような進路を想定しています。
 病院等医療機関の看護職、看護管理職
 大学等の研究職、看護師等養成学校等の看護教員職
 博士後期課程への進学

学納金

大学院研究科名	入学金	授業料等	初年次納付金(合計)
名古屋学芸大学大学院 看護学研究科修士課程	100,000	955,000	1,055,000
(参考)他の大学院看護学研究科の学納金			
愛知医科大学大学院 看護学研究科(修士論文コース)	300,000	700,000	1,000,000
日本赤十字豊田看護大学大学院 看護学研究科 修士課程	320,000	880,000	1,200,000
日本福祉大学大学院 看護学研究科 修士課程	200,000	950,000	1,150,000

名古屋学芸大学大学院看護学研究科(仮称)の学費は予定のものです。他大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報です。いずれも諸会費を含みません。

アクセス

新栄キャンパス:名古屋市中区新栄1-9-6
 名古屋駅→新栄町駅(7分) 下車徒歩5分



上記の内容は全て構想中の計画であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

名古屋学芸大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）

入学意向アンケート調査

報告書②

【学部・別科在学生向けアンケート調査】

令和3年12月24日

1. 入学意向アンケート調査（学部・別科在学生向け） 概要

調査の目的	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称・令和5年4月開設に向け設置構想中）の学生募集のニーズを、名古屋学芸大学看護学部在学生、別科助産学専攻在学生へのアンケートを用いて計測した。
調査期間	令和3年9月～11月
調査方法	学内において、教員の監督のもとアンケートを実施した。（書面記入式）
調査対象 （依頼先）	（看護学部） ①看護学部（1年生～4年生）：405人 ②別科助産学専攻：21人 合計：426人
調査内容 （主な質問項目）	・回答者の基本情報 ・名古屋学芸大学大学院看護学研究科修士課程への受験意向及び入学意向
有効回答件数	426件
調査実施主体	株式会社高等教育総合研究所

2. 入学意向アンケート調査（学部生・別科在学学生向け） 集計表

（1）全学年（看護学部4学年・別科助産学専攻）

調査種別		在学学生向け入学意向調査			
調査対象者		名古屋学芸大学看護学部及び別科助産学専攻在学学生			
		回収合計		426	100.0%
問	設問		選択肢	回答数	割合
問1	あなたの所属をお答えください。 (択一回答)	1	看護学部	405	95.1%
		2	別科助産学専攻	21	4.9%
			合計	426	100.0%
問2	あなたの性別をお答えください。 (択一回答)	1	女性	394	92.5%
		2	男性	32	7.5%
			合計	426	100.0%
問3	あなたの学年をお答えください。 (択一回答)	1	1年生	123	28.9%
		2	2年生	104	24.4%
		3	3年生	100	23.5%
		4	4年生	99	23.2%
			合計	426	100.0%
問4	あなたがお住まいの都道府県をお答えください。(択一回答)	1	愛知県	340	79.8%
		2	岐阜県	57	13.4%
		3	三重県	26	6.1%
		4	静岡県	2	0.5%
		5	その他	1	0.2%
			合計	426	100.0%
問5	あなたは大学院への進学を検討していますか。 (択一回答)	1	将来的には進学したい	51	12.0%
		2	学部や別科の卒業後すぐに進学したい	10	2.3%
		3	進学は考えていない	365	85.7%
			合計	426	100.0%
問6	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）を受験したいと思いますか。 (択一回答)	1	受験したい【→問7】	48	11.3%
		2	受験しない【アンケート終了】	378	88.7%
			合計	426	100.0%

問7	【問6の「1受験したい」の回答者のみ】 名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思いませんか。（択一回答）	1	入学したい	25	5.9%
		2	併願校の結果等の状況により入学したい	23	5.4%
			合計	48	11.3%
問8	【問6の「1受験したい」の回答者のみ】 あなたが大学院で専攻したい分野をお答えください。 （択一回答）	1	母性看護学・助産看護学分野	18	4.2%
		2	小児看護学分野	7	1.6%
		3	成人看護学・老年看護学分野	4	0.9%
		4	精神看護学分野	5	1.2%
		5	地域・在宅看護学分野	2	0.5%
		6	災害看護学分野	9	2.1%
		7	看護管理学分野	1	0.2%
		8	看護教育学分野	2	0.5%
			合計	48	11.3%

(2) 看護学部3年生（令和5年3月卒業予定）

調査対象者		名古屋学芸大学看護学部3年生			
		回答者数	100	100.0%	
問	設問	選択肢	回答数	割合	
問5	あなたは大学院への進学を検討していますか。 (択一回答)	1 将来的には進学したい	11	11.0%	
		2 学部や別科の卒業後すぐに進学したい	2	2.0%	
		3 進学は考えていない	87	87.0%	
		合計	100	100.0%	
問6	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）を受験したいと思いませんか。 (択一回答)	1 受験したい【→問7】	4	4.0%	
		2 受験しない【終了】	96	96.0%	
		合計	100	100.0%	
問7	【問6の「1 受験したい」の回答者のみ】 名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思いませんか。(択一回答)	1 入学したい	4	4.0%	
		2 併願校の結果等の状況により入学したい	0	0.0%	
		合計	4	4.0%	
問8	【問6の「1 受験したい」の回答者のみ】 あなたが大学院で専攻したい分野をお答えください。 (択一回答)	1 母性看護学・助産看護学分野	1	1.0%	
		2 小児看護学分野	1	1.0%	
		3 成人看護学・老年看護学分野	2	2.0%	
		4 精神看護学分野	0	0.0%	
		5 地域・在宅看護学分野	0	0.0%	
		6 災害看護学分野	0	0.0%	
		7 看護管理学分野	0	0.0%	
		8 看護教育学分野	0	0.0%	
		合計	4	4.0%	

※問1～問4は省略

(3) 別科助産学専攻在学生

調査対象者		名古屋学芸大学別科助産学専攻 在学生		
		回答者数	21	100.0%
問	設問	選択肢	回答数	割合
問5	あなたは大学院への進学を検討していますか。 (択一回答)	1 将来的には進学したい	1	4.8%
		2 学部や別科の卒業後すぐに進学したい	0	0.0%
		3 進学は考えていない	20	95.2%
		合計	21	100.0%
問6	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称)を受験したいと思いませんか。 (択一回答)	1 受験したい【→問7】	1	4.8%
		2 受験しない【終了】	20	95.2%
		合計	21	100.0%
問7	【問6の「1 受験したい」の回答者のみ】 名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称)を受験し合格した場合、入学したいと思いませんか。(択一回答)	1 入学したい	1	4.8%
		2 併願校の結果等の状況により入学したい	0	0.0%
		合計	1	4.8%
問8	【問6の「1 受験したい」の回答者のみ】 あなたが大学院で専攻したい分野をお答えください。 (択一回答)	1 母性看護学・助産看護学分野	1	4.8%
		2 小児看護学分野	0	0.0%
		3 成人看護学・老年看護学分野	0	0.0%
		4 精神看護学分野	0	0.0%
		5 地域・在宅看護学分野	0	0.0%
		6 災害看護学分野	0	0.0%
		7 看護管理学分野	0	0.0%
		8 看護教育学分野	0	0.0%
		合計	1	4.8%

※問1～問4は省略

3. 入学意向アンケート調査（学部生・別科在学学生向け） 結果の要点

1) 大学院への進学意志（問5）

全学年の回答者 426 人のうち 51 人(12.0%)が「大学院に将来的には進学したい」、10 人(2.3%)が「卒業後すぐに進学したい」と回答した。合わせて 61 人（14.3%）が大学院への進学希望があることが示された。

2) 本研究科への受験・入学意志（問6、問7）

全学年（別科助産学専攻を含む）の回答者 426 人のうち 48 人（11.3%）が「(本研究科を) 受験したい」と回答し、そのうち 25 人（5.9%）が「(本研究科に) 入学したい」と回答した。

学年別では、本研究科開設時である令和 5 年 3 月に卒業予定である看護学部 3 年生 100 人の中では、4 人（4.0%）が「受験したい」と回答しその 4 人全員が「入学したい」と回答した。

別科助産学専攻（1 年制につき 1 学年のみ）21 人の中では、1 人（4.8%）が「受験したい」と回答し「入学したい」と回答した。学年別の受験・入学意向は以下の通りである。

	回答者	問6「受験したい」	問7「入学したい」
1 年生	102 人	13 人（12.7%）	4 人（3.9%）
2 年生	104 人	25 人（24.0%）	12 人（11.5%）
3 年生	100 人	4 人（4.0%）	4 人（4.0%）
4 年生	99 人	5 人（5.1%）	4 人（4.0%）
別科助産学専攻	21 人	1 人（4.8%）	1 人（4.8%）
合計	426 人	48 人（11.3%）	25 人（5.9%）

学年や所属によりばらつきがあるものの、毎年一定数の大学院進学希望者、本研究科への進学希望者が存在することが明らかとなった。

3) クロス集計

問5（大学院進学意向）、問6（本研究科への受験意志）、問7（本研究科への入学意志）のクロス集計を行ったところ、426 人中 18 人（4.2%）が「大学院への進学意向（将来的またはすぐに）」とともに「本研究科への受験・入学意志」があった。本研究科開設時である令和 5 年 4 月に卒業予定である看護学部 3 年生 100 人では、4 人（4.0%）が「大学院への進学意向（将来的またはすぐに）」とともに「本研究科への受験・入学意志」があった。本研究科の入学定員は 6 人であるが、名古屋学芸大学看護学部からの進学者は入学者選抜において 2 人の募集定員としているので、入学者の確保の見通しが示されていると言える。

4. 入学意向アンケート調査（学部生・別科在学学生向け） アンケート用紙

本アンケートの調査用紙は、次ページ以降（回答用紙 2 ページ、概要用紙 1 ページ、合計 3 ページ）に示した。



名古屋学芸大学 大学院看護学研究科修士課程（仮称） 入学意向アンケート調査（学部等在学生向け）

アンケート対象：名古屋学芸大学看護学部及び別科助産学専攻在学生の皆様

名古屋学芸大学では2023（令和5）年4月に大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、看護学部と別科助産学専攻の在学生の皆さまからご意見をお聞きし、大学院の構想内容に反映したいと考えています。

本アンケートは無記名調査であり、皆様の個人情報収集し利用することはありません。
アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

※別紙の名古屋学芸大学大学院看護学研究科修士課程（仮称）の概要をご覧の上で、以下の設問にお答えください。

問1 あなたの所属をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 看護学部 別科助産学専攻

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 女性 男性

問3 あなたの学年をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 1年生 2年生 3年生 4年生

問4 あなたがお住まいの都道府県をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 愛知県 岐阜県 三重県 静岡県 その他

問5 あなたは大学院への進学を検討していますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 将来的には進学したい 学部や別科の卒業後すぐに進学したい
 進学は考えていない

2023年に設置構想中の名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）は、看護師として働きながら夜間や週末に通学でき2年間で修了（修士学位）できる大学院です。

問6 名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）を受験したいと思いませんか。（あてはまるもの一つにマーク）

- 受験したい（→ 問7以降にお答えください。）
 受験しない →アンケートは終了です。ありがとうございました。



アンケート回答の前に以下の新研究科の概要をお読みください。



名古屋学芸大学

大学院看護学研究科看護学専攻修士課程

(仮称・2023年4月開設に向け設置構想中)

概要

開設時期：2023年4月
 開設場所：名古屋市中区新栄1-9-6
 修業年限：2年
 入学定員：6名[男女共学](収容定員：12名)
 取得学位：修士(看護学)

養成人材像

【養成人材像】

看護の現象を多角的な視点で捉え、高い倫理観とともに、高度な教育・研究能力や看護実践能力のもと、様々な課題を探究することにより看護学の発展と看護の質向上に貢献できる看護専門職を育成します。

身につける能力

【本課程で身につける3つの能力】

看護研究の理論的基盤と方法論を身につけるとともに、看護の現象を多角的な視点で捉え、様々な課題解決や看護実践のための研究を行うことで、看護学の発展に貢献できる研究能力

科学的かつ体系的な幅広い視点から看護教育をとらえ、看護を学ぶ対象への指導力を高め看護の質の向上に貢献できる教育能力

専門分野の課題に対し、専門的知識と科学的根拠に基づき、高い倫理観とともに多職種との連携や協働を通じて課題解決に貢献できる高度な看護実践能力

領域構成(3領域8分野)

発達看護学領域	母性・助産看護学分野
	小児看護学分野
	成人・老年看護学分野
広域看護学領域	精神看護学分野
	地域・在宅看護学分野
発展看護学領域	災害看護学分野
	看護管理学分野
	看護教育学分野

看護管理学分野で修士の学位を取得すれば、認定看護管理者の資格取得試験を受けることができます。現在管理職でない場合は、修了後3年の師長経験が必要となります。

働きながら学べる大学院

【働きながら学べる大学院】

- (1) 本研究科は、入学者として現職看護職を受け入れる予定です。
- (2) 平日昼間の他に、夜間と土曜日の授業も設定しており、働きながら通学することが可能です。
- (3) 長期履修制度の導入により、最長4年間の在学による履修計画が可能です。
- (4) 名古屋の中心部(新栄)にある都市型キャンパスのため、アクセスが容易です。
- (5) 専門学校や短期大学卒業の看護職の場合、一定期間以上の実務経験等の実績があれば、本学による出願資格の認定を受けることで、本大学院の受験が可能になります。

修了後の進路

修了後は以下のような進路を想定しています。
 病院等医療機関の看護職、看護管理職
 大学等の研究職、看護師等養成学校等の看護教員職
 博士後期課程への進学

学納金

大学院研究科名	入学金	授業料等	初年次納付金(合計)
名古屋学芸大学大学院 看護学研究科修士課程	100,000	955,000	1,055,000
(参考)他の大学院看護学研究科の学納金			
愛知医科大学大学院 看護学研究科(修士論文コース)	300,000	700,000	1,000,000
日本赤十字豊田看護大学大学院 看護学研究科 修士課程	320,000	880,000	1,200,000
日本福祉大学大学院 看護学研究科 修士課程	200,000	950,000	1,150,000

名古屋学芸大学大学院看護学研究科(仮称)の学費は予定のものです。他大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報です。いずれも諸会費を含みません。

アクセス

新栄キャンパス:名古屋市中区新栄1-9-6
 名古屋駅→新栄町駅(7分) 下車徒歩5分



上記の内容は全て構想中の計画であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

名古屋学芸大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）

入学意向アンケート調査

報告書③

【看護職向けインターネット調査】

令和3年12月24日

1. 入学意向アンケート調査（インターネット）概要

調査の目的	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称・令和5年4月開設に向け設置構想中）の学生募集のニーズを、インターネット調査による看護職へのアンケートを用いて計測した。
調査期間	令和3年10月
調査方法	インターネット調査会社に登録しているモニターのうち看護職を対象として、アンケート調査を行った。 調査はインターネットを利用し、名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程の概要を提示し、受験、入学意向を質問した。
調査対象 （依頼先）	愛知県、岐阜県に在住する看護職 合計：272人
調査内容 （主な質問項目）	・回答者の基本情報、保有資格、最終学歴 ・名古屋学芸大学大学院看護学研究科修士課程への受験意向及び入学意向
有効回答件数	272件
調査実施主体	株式会社クロス・マーケティング 株式会社高等教育総合研究所

2. 入学意向アンケート調査（インターネット） 集計表

調査種別	看護職向け入学意向調査（インターネット）		
本調査対象者（アンケートモニター＝愛知県・岐阜県の看護師）		回答数	%
		272	100.0
属性設問 1		回答数	%
あなたの性別をお知らせください。 （択一回答）	回答者合計		272 100.0
	1	男性	41 15.1
	2	女性	231 84.9
	3	その他	0 0.0
属性設問 2		回答数	%
あなたの年齢をお知らせください。／歳 （直接入力）	回答者合計		272 100.0
	-	平均値	- 37.8歳
	-	最小値	- 21.0歳
	-	最大値	- 69.0歳
スクリーニング 1		回答数	%
あなたがお住まいの都道府県をお答えください。 （択一回答）	回答者合計		272 100.0
	1	愛知県	211 77.6
	2	岐阜県	61 22.4
	3	三重県	0 0.0
	4	静岡県	0 0.0
	5	その他	0 0.0
スクリーニング 2		回答数	%
あなたの職種をお答えください。 （択一回答）	回答者合計		272 100.0
	1	看護師として勤務	232 85.3
	2	准看護師として勤務（調査終了）	0 0.0
	3	助産師として勤務	12 4.4
	4	保健師として勤務	13 4.8
	5	その他	7 2.6
	6	無職	8 2.9
スクリーニング 3		回答数	%
あなたの最終学歴をお答えください。 （択一回答）	回答者合計		272 100.0
	1	高等学校卒業	3 1.1
	2	専門学校卒業	149 54.8
	3	短期大学卒業	24 8.8
	4	4年制大学卒業	94 34.6
	5	大学院（修士課程）在学中または修了（調査終了）	0 0.0
	6	大学院（博士課程）在学中または修了（調査終了）	0 0.0
	7	その他	2 0.7
	8	答えたくない	0 0.0

Q1		回答数	%
看護師／助産師／保健師としての実務経験年数をお答えください。 (択一回答)	回答者合計	272	100.0
	1 3年未満	21	7.7
	2 3年以上10年未満	101	37.1
	3 10年以上20年未満	79	29.0
	4 20年以上	71	26.1
Q2		回答数	%
あなたは大学院への進学を検討していますか。 (択一回答)	回答者合計	272	100.0
	1 将来的には進学したい	34	12.5
	2 すぐに進学したい	3	1.1
	3 進学は考えていない	235	86.4
Q3		回答数	%
【Q2の「将来的には進学したい」「すぐに進学したい」の回答者のみ】 あなたは名古屋学芸大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程を受験したいと思いますか。 (択一回答)	回答者合計 n=37	37	100.0
	1 受験したい	11	29.7
	2 受験したくない	8	21.6
	3 わからない	18	48.6
Q4		回答数	%
【Q3の「受験したい」の回答者のみ】 あなたは名古屋学芸大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。(択一回答)	回答者合計 n=11	11	100.0
	1 入学したい	11	100.0
	2 併願校の結果等の状況により入学したい	0	0.0
	3 わからない	0	0.0
Q5		回答数	%
【Q3の「受験したい」の回答者のみ】 あなたが大学院で最も専攻したい分野をお答えください。(択一回答)	回答者合計 n=11	11	100.0
	1 母性看護学・助産看護学分野	1	9.1
	2 小児看護学分野	1	9.1
	3 成人看護学・老年看護学分野	4	36.4
	4 精神看護学分野	3	27.3
	5 地域・在宅看護学分野	1	9.1
	6 災害看護学分野	0	0.0
	7 看護管理学分野	0	0.0
	8 看護教育学分野	1	9.1
	9 その他	0	0.0

3. 入学意向アンケート調査（インターネット） 結果の要点

1) 回答者の属性

本調査は、インターネット調査会社のモニターのうち、「愛知県、岐阜県に在住する看護職としてモニター登録している者」を対象とした。回答者272人のうち、男女比率は女性が231人(84.9%)、男性が41人(15.1%)、居住地は愛知県が211人(77.6%)、岐阜県が61人(22.4%)、職種は看護師が232人(85.3%)、助産師が12人(4.4%)、保健師が13人(4.8%)、平均年齢は37.8歳で、最年少が21歳、最高齢が69歳であった。「准看護師として勤務する者」(0名)は調査から排除した。最終学歴は専門学校卒業が149人(54.8%)、4年制大学卒業が94人(34.6%)であり、大学院修了者または在学者は0人であった。また看護職としての勤務年数は、3年未満が21人(7.7%)、3年以上10年未満が101人(37.1%)、10年以上20年未満が79人(29.0%)、20年以上が71人(26.1%)であった。以上により、回答者の属性は、現職看護職を主な入学者として想定している本研究科の調査対象として適切であると言える。

2) 大学院への進学意志 (Q2)

回答者272人のうち3人(1.1%)が「大学院にすぐに進学したい」、34人(12.5%)が「将来的には進学したい」と回答した。合わせて37人(13.6%)が大学院への進学希望があることが示された。

3) 本研究科への受験・入学意志 (Q3、Q4)

Q2の「大学院に進学したい」の回答者37人のうち11人(29.7%、全体の4.0%)が「(本研究科を)受験したい」と回答した。さらに「受験したい」の回答者11人のうち、全員11人(100%、全体の4.0%)が、「(本研究科に合格した場合)入学したい」と回答した。本研究科の入学定員は6人であり、それを十分に上回る受験・入学意向が示された。この10人は、

4. 入学意向アンケート調査（インターネット） アンケート画面

本アンケートはインターネットを利用して実施したため、調査の画面を次ページ以降に示した。

対象外条件 **F2.1** < 20 または **F2.1** > 69 (即時回答終了)

対象外条件 **SC1** = 「3. 三重県」～「5. その他」(回答継続)

対象外条件 **SC2** = 「2. 准看護師として勤務」(回答継続)

対象外条件 **SC3** = 「5. 大学院(修士課程)在学中または修了」, 「6. 大学院(博士課程)在学中または修了」, 「8. 答えたくない」(回答継続)

アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



この調査は「**大学院**」に関するお考えの把握のために実施します。
そのため、このアンケート内には「**大学や大学院**」についての質問があります。
趣旨をご理解いただき、ご協力いただける場合は、次ページにお進みください。

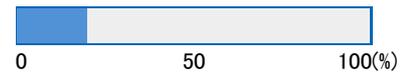
調査の結果は通常と同じく統計処理され個人が特定されることはありません。
例えば「はい」のご意見が50%というように、個人としてではなく、数量として集計・分析されます。

調査主体会社:株式会社クロス・マーケティング
調査依頼主:高等教育総合研究所

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



F1

必須設定 回答必須

F1

あなたの性別をお知らせください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

F2

対象外条件 F2_1 < 20 または F2_1 > 69 (即時回答終了)

- カテゴリ 1.歳

必須設定 回答必須

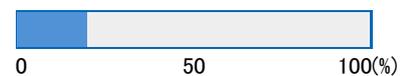
回答制御 回答範囲「0~99」に該当しない場合はアラートを表示

F2

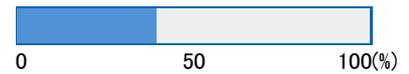
あなたの年齢をお知らせください。

歳

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC1

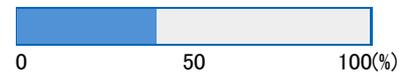
- 必須設定 回答必須
- カテゴリ表示順 ランダム(1-4)
- 対象外条件 SC1 = 「3. 三重県」～「5. その他」(回答継続)

SC1

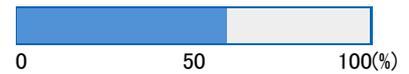
あなたがお住まいの都道府県をお答えください。

- 1 愛知県
- 2 岐阜県
- 3 三重県
- 4 静岡県
- 5 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC2

必須設定 回答必須

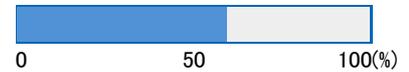
対象外条件 SC2 = 「2. 准看護師として勤務」(回答継続)

SC2

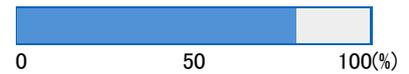
あなたの職種をお答えください。

- 1 看護師として勤務
- 2 准看護師として勤務
- 3 助産師として勤務
- 4 保健師として勤務
- 5 その他
- 6 無職

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

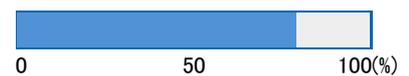


SC3

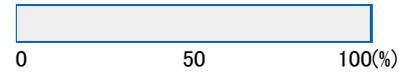
必須設定 回答必須**対象外条件** SC3 = 「5. 大学院(修士課程)在学中または修了」, 「6. 大学院(博士課程)在学中または修了」, 「8. 答えたくない」(回答継続)**SC3**あなたの**最終学歴**をお答えください。

- 1 高等学校卒業
- 2 専門学校卒業
- 3 短期大学卒業
- 4 4年制大学卒業
- 5 大学院(修士課程)在学中または修了
- 6 大学院(博士課程)在学中または修了
- 7 その他
- 8 答えたくない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q1

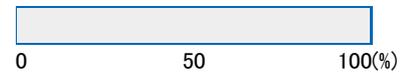
必須設定 回答必須

Q1

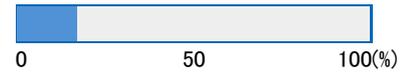
看護師/助産師/保健師としての実務経験年数をお答えください。

- 1 3年未満
- 2 3年以上10年未満
- 3 10年以上20年未満
- 4 20年以上

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q2

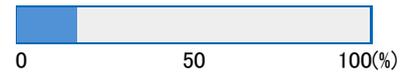
必須設定 回答必須

Q2

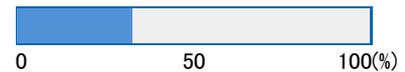
あなたは大学院への進学を検討していますか。

- 1 将来的には進学したい
- 2 すぐに進学したい
- 3 進学は考えていない

次へ



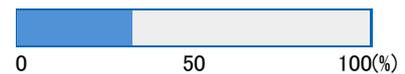
※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



表示条件 Q2 = 「1. 将来的には進学したい」, 「2. すぐに進学したい」

2023年度に設置予定の名古屋学芸大学大学院 看護学研究科看護学専攻 修士課程(仮称)は、看護職として働きながら夜間や週末に通学し、2年間(長期履修の場合は最長4年間)で修了(修士学位)できる看護系大学院として計画中です。修了後は、看護管理職や看護教員職への進路を想定しています。本研究科は名古屋市中区新栄に立地予定の都市型キャンパスで、入学定員は6名、入学金は10万円、年間授業料等は95.5万円を予定しています。専門学校卒や短期大学卒の方も、一定期間以上の実務経験がある場合は、受験資格を本学が事前に認定することで、本研究科を志願し受験することが可能です。

次へ



アンケート回答の前に以下の新研究科の概要をお読みください。



名古屋学芸大学

大学院看護学研究科看護学専攻修士課程

(仮称・2023年4月開設に向け設置構想中)

概要

開設時期：2023年4月
 開設場所：名古屋市中区新栄1-9-6
 修業年限：2年
 入学定員：6名[男女共学](収容定員：12名)
 取得学位：修士(看護学)

養成人材像

【養成人材像】

看護の現象を多角的な視点で捉え、高い倫理観とともに、高度な教育・研究能力や看護実践能力のもと、様々な課題を探究することにより看護学の発展と看護の質向上に貢献できる看護専門職を育成します。

身につける能力

【本課程で身につける3つの能力】

看護研究の理論的基盤と方法論を身につけるとともに、看護の現象を多角的な視点で捉え、様々な課題解決や看護実践のための研究を行うことで、看護学の発展に貢献できる研究能力

科学的かつ体系的な幅広い視点から看護教育をとらえ、看護を学ぶ対象への指導力を高め看護の質の向上に貢献できる教育能力

専門分野の課題に対し、専門的知識と科学的根拠に基づき、高い倫理観とともに多職種との連携や協働を通じて課題解決に貢献できる高度な看護実践能力

領域構成(3領域8分野)

発達看護学領域	母性・助産看護学分野
	小児看護学分野
	成人・老年看護学分野
広域看護学領域	精神看護学分野
	地域・在宅看護学分野
発展看護学領域	災害看護学分野
	看護管理学分野
	看護教育学分野

看護管理学分野で修士の学位を取得すれば、認定看護管理者の資格取得試験を受けることができます。現在管理職でない場合は、修了後3年の師長経験が必要となります。

働きながら学べる大学院

【働きながら学べる大学院】

- (1) 本研究科は、入学者として現職看護職を受け入れる予定です。
- (2) 平日昼間の他に、夜間と土曜日の授業も設定しており、働きながら通学することが可能です。
- (3) 長期履修制度の導入により、最長4年間の在学による履修計画が可能です。
- (4) 名古屋の中心部(新栄)にある都市型キャンパスのため、アクセスが容易です。
- (5) 専門学校や短期大学卒業の看護職の場合、一定期間以上の実務経験等の実績があれば、本学による出願資格の認定を受けることで、本大学院の受験が可能になります。

修了後の進路

修了後は以下のような進路を想定しています。
 病院等医療機関の看護職、看護管理職
 大学等の研究職、看護師等養成学校等の看護教員職
 博士後期課程への進学

学納金

大学院研究科名	入学金	授業料等	初年次納付金(合計)
名古屋学芸大学大学院 看護学研究科修士課程	100,000	955,000	1,055,000
(参考)他の大学院看護学研究科の学納金			
愛知医科大学大学院 看護学研究科(修士論文コース)	300,000	700,000	1,000,000
日本赤十字豊田看護大学大学院 看護学研究科 修士課程	320,000	880,000	1,200,000
日本福祉大学大学院 看護学研究科 修士課程	200,000	950,000	1,150,000

名古屋学芸大学大学院看護学研究科(仮称)の学費は予定のものです。他大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報です。いずれも諸会費を含みません。

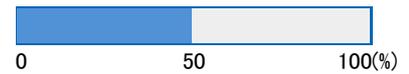
アクセス

新栄キャンパス:名古屋市中区新栄1-9-6
 名古屋駅→新栄町駅(7分) 下車徒歩5分



上記の内容は全て構想中の計画であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q3

必須設定 回答必須

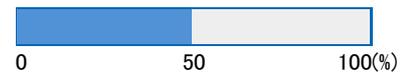
回答者条件 Q2 = 「1. 将来的には進学したい」, 「2. すぐに進学したい」

Q3

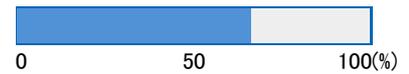
あなたは名古屋学芸大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程を受験したいと思いますか。

- 1 受験したい
- 2 受験したくない
- 3 わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q4

必須設定 回答必須

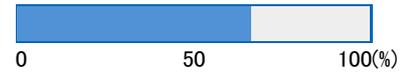
回答者条件 Q3 = 「1. 受験したい」

Q4

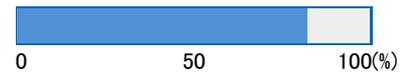
あなたは名古屋学芸大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。

- 1 入学したい
- 2 併願校の結果等の状況により入学したい
- 3 わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q5

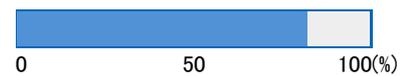
必須設定 回答必須
回答者条件 Q3 = 「1. 受験したい」
カテゴリ表示順 ランダム (1 - 8)

Q5

あなたが大学院で最も専攻したい分野をお答えください。

- 1 母性看護学・助産看護学分野
- 2 小児看護学分野
- 3 成人看護学・老年看護学分野
- 4 精神看護学分野
- 5 地域・在宅看護学分野
- 6 災害看護学分野
- 7 看護管理学分野
- 8 看護教育学分野
- 9 その他

送信



【資料6】東海地区私立看護系大学院の学納金（2021年度）

所在地	立	大学	研究科	専攻	入学金	授業料	その他	授業料+その他	初年度納付金額	2年間合計	備考
愛知県	私	藤田医科大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	150,000	750,000		750,000	900,000	1,650,000	
愛知県	私	愛知医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	300,000	600,000	100,000	700,000	1,000,000	1,700,000	修士論文コース
愛知県	私	日本赤十字豊田看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	320,000	680,000	200,000	880,000	1,200,000	2,080,000	
愛知県	私	中部大学大学院	生命健康科学研究科	看護学専攻	100,000	550,000	300,000	850,000	950,000	1,800,000	
愛知県	私	豊橋創造大学大学院	健康科学研究科	健康科学専攻	250,000	720,000	180,000	900,000	1,150,000	2,050,000	
愛知県	私	日本福祉大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	950,000		950,000	1,150,000	2,100,000	
愛知県	私	人間環境大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	950,000		950,000	1,150,000	2,100,000	
静岡県	私	聖隷クリストファー大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	300,000	1,048,000		1,048,000	1,348,000	2,396,000	
岐阜県	私	岐阜医療科学大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	200,000	400,000	400,000	800,000	1,000,000	1,800,000	
岐阜県	私	岐阜保健大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	282,000	800,000		800,000	1,082,000	1,882,000	看護学研究コース
三重県	私	四日市看護医療大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	900,000		900,000	1,100,000	2,000,000	
三重県	私	鈴鹿医療科学大学大学院	医療科学研究科	医療科学専攻	200,000	680,000		680,000	880,000	1,560,000	
								平均額	1,075,833	1,926,500	

出典：各大学のHP

【資料 7】

1 (書類等の題名)

日本看護協会「継続教育の基準 ver. 2」

(【資料 7】全 10 ページ)

2 (出典)

公益社団法人 日本看護協会

3 (引用範囲)

日本看護協会「継続教育の基準 ver. 2」2012 年 4 月

公益社団法人 日本看護協会

(1 ページ及び 4 ページから 12 ページ)

<https://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/pdf/keizoku-ver2.pdf>

4 (その他の説明)

- ・ ホームページから引用し資料とした。
- ・ 引用資料の 10 ページ目の「2. 学習資源の基準」を、赤枠で括って資料とした。

【資料 8】

1（書類等の題名）

認定看護管理者の要件（【資料 8】全 1 ページ）

2（出典）

公益社団法人 日本看護協会

3（引用範囲）

認定看護管理者（Certified Nurse Administrator）への道

公益社団法人日本看護協会（1 ページ）

https://sums.ac.jp/pdf/antc/gna_distance.pdf

4（その他の説明）

- ・ ホームページから引用し資料とした。
- ・ 資料中、要件 2、要件 2、要件 3 を、赤枠で囲って資料とした。

【資料 9】

1 (書類等の題名)

日本看護系大学協議会「要望書」 (【資料 9】全 6 ページ)

2 (出典)

一般社団法人 日本看護系大学協議会

3 (引用範囲)

日本看護系大学協議会「要望書」

一般社団法人 日本看護系大学協議会

(1ページから6 ページ)

<https://kango-renmei.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2019/09/cb0304bbb7410abb50da7a50a7772ff9.pdf>

4 (その他の説明)

- ・ ホームページから引用し資料とした。
- ・ 引用資料の 2～3 ページの「1. 看護系大学の看護教員育成のための支援と助成について」を、赤枠で囲って資料とした。

【資料 10】

1（書類等の題名）

「看護系大学に関する実態調査」2018 年度状況調査

（【資料 10】全 2 ページ）

2（出典）

一般社団法人 日本看護系大学協議会

3（引用範囲）

「看護系大学に関する実態調査」2018 年度状況調査

一般社団法人 日本看護系大学協議会

- ・「6. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の就職・進学
の状況／表 6. 卒業生、修了生の就職・進学状況」

（67ページ及び82 ページ）

<https://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2020/05/2019DB.pdf>

4（その他の説明）

- ・ホームページから引用し資料とした。
- ・引用資料の 82 ページの「6. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の就職・進学
の状況／表 6. 卒業生、修了生の就職・進学状況」の修了生欄
を、赤枠で囲って資料とした。

名古屋学芸大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）

採用意向アンケート調査
報告書

令和3年12月24日

1. 採用意向アンケート調査の概要

調査の目的	名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称・令和5年4月開設に向け設置構想中・入学定員6人を予定)の修了者の人材需要(採用意向)のニーズを、病院等の事業所へのアンケートを用いて計測した。
調査期間	令和3年10月～12月
調査方法	病院・医療施設・自治体等の事業所の、看護職採用担当者にアンケート調査用紙を郵送し、回答後に返送により回収した。
調査対象 (依頼先)	①病院、診療所、クリニック ②高齢者・介護福祉施設 ③訪問看護ステーション ④看護師等養成機関(看護専門学校・看護系大学) (愛知県・岐阜県・三重県) 上記の合計700事業所に調査を依頼した。
調査内容 (主な質問項目)	・事業所の基本情報 ・名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程の設置の修了者の人材ニーズ、採用意向
有効回答件数	204件(回収率:29.1%)
調査実施主体	株式会社高等教育総合研究所

2. 採用意向アンケート調査 集計表

調査種別		事業所向け採用意向アンケート調査			
調査対象者		病院等の看護部長・看護職採用担当者			
		回収合計	204	100%	
問	設問		選択肢	回答数	割合
問 1	貴事業所の所在地をお答えください。 (択一回答)	1	愛知県	112	54.9%
		2	岐阜県	34	16.7%
		3	三重県	38	18.6%
		4	静岡県	14	6.9%
		5	その他	6	2.9%
			合計	204	100.0%
問 2	貴事業所の事業種をお答えください。 (択一回答)	1	病院	135	66.2%
		2	病院 (特定機能病院)	4	2.0%
		3	診療所・クリニック	3	1.5%
		4	高齢者・介護福祉施設	8	3.9%
		5	訪問看護ステーション	6	2.9%
		6	看護師等養成機関 (看護専門学校・看護系大学)	48	23.5%
		7	その他	0	0.0%
			合計	204	100.0%
問 3	貴事業所の過去3年の看護職員 (看護教員) の平均採用数についてお答えください。 (択一回答)	1	0人	9	4.4%
		2	1～5人	75	36.8%
		3	6～10人	29	14.2%
		4	11～20人	38	18.6%
		5	21～50人	30	14.7%
		6	51～100人	14	6.9%
		7	101人以上	9	4.4%
			合計	204	100.0%
問 4	貴事業所の看護師 (看護教員) の充足状況についてお答えください。 (択一回答)	1	看護師 (看護教員) は充足している	86	42.2%
		2	看護師 (看護教員) は充足していない	116	56.9%
		3	わからない	2	1.0%
			合計	204	100.0%
問 5	名古屋学芸大学が設置構想中の大学院看護学研究科看護学専攻修士課程 (仮称) が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われませんか。 (択一回答)	1	人材ニーズは高い	120	58.8%
		2	人材ニーズは高くない	11	5.4%
		3	わからない	73	35.8%
			合計	204	100.0%

問 6	名古屋学芸大学が設置構想中の大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）が養成する人材を、貴事業所で採用したいと思われますか。 （択一回答）	1	採用したい	63	30.9%
		2	採用しない	19	9.3%
		3	わからない	122	59.8%
			合計	204	100.0%
問 7	【問 6 の「1」の回答者のみ】 「採用したい」と回答された場合、採用可能な人数についてお答えください。 （択一回答）	1	1人	26	12.7%
		2	2人	18	8.8%
		3	3人	10	4.9%
		4	4人	0	0.0%
		5	5人以上	9	4.4%
			合計	63	30.9%
問 8	名古屋学芸大学大学院看護学研究科（仮称）が設置された場合、貴事業所所属の看護職に入学を推奨しますか？ （択一回答）	1	入学を推奨する	15	7.4%
		2	入学を推奨しない	5	2.5%
		3	本人の意志を尊重する	164	80.4%
		4	わからない	20	9.8%
			合計	204	100.0%

3. 採用意向アンケート調査 結果の要点

1) 回答事業所の属性（問1、問2）

回答のあった204事業所の所在地は、愛知県が112事業所(54.9%)、岐阜県が34事業所(16.7%)、三重県が38事業所(18.6%)、静岡県が14事業所(6.9%)となり、本学が立地する愛知県を中心に中部地区を広くカバーしている。業種は、病院が139院(68.1%)、ついで看護師等養成機関(看護専門学校・看護系大学)が48校(23.5%)となっており、本研究科の修了後の進路に合致した調査対象となっている。

2) 看護師（または看護教員）の充足状況（問4）

86事業所(42.2%)から「看護師(看護教員)は充足している」、116事業所(56.9%)から「看護師(看護教員)は充足していない」の回答があった。半数以上の回答事業所において、看護師(看護教員)が充足していないことが示された。

3) 本研究科の養成人材の人材ニーズ（問5）

本研究科の養成人材の人材ニーズについては、120事業所(58.8%)より「人材ニーズは高い」の回答があった。約6割の事業所から人材ニーズを肯定的に評価される結果となった。

4) 本研究科の修了者の採用意向（問6、問7）

本研究科の修了予定者の採用意向については、63事業所(30.9%)より「採用したい」との回答を得た。「採用したい」と回答した事業所に具体的な採用可能人数を質問したところ、63回答事業所に採用可能人数を乗じた合計は、137人(採用可能人数合計)となった。本研究科の入学定員は6人であり、入学定員を十分に上回る採用意向を得た結果となった。

5) 専攻コースごとの採用意向

業種ごとの採用意向を確認するため、問2（事業所の業種）と問6（採用意向）でクロス集計を行った。病院（特定機能病院を含む）では、139院のうち46院（33.1%）から「採用したい」、看護師養成機関（看護専門学校・看護系大学）では48校のうち11校（22.9%）から「採用したい」の回答を得た。

(表) 問2（業種）と問6（採用意向）のクロス集計

	採用したい	採用しない	わからない	合計
病院	46	14	75	135
病院（特定機能病院）	0	0	4	4
診療所・クリニック	2	1	0	3
高齢者・介護福祉施設	4	0	4	8
訪問看護ステーション	0	3	3	6
看護師等養成機関（看護専門学校・看護系大学）	11	1	36	48
合計	63	19	122	204

4. 採用意向アンケート調査 アンケート用紙

本アンケートの調査用紙は、次ページ以降（回答用紙2ページ、概要用紙1ページ、合計3ページ）に示した。



問7 「採用したい」と回答された場合、採用可能な人数についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 1人 2人 3人 4人 5人以上

問8 名古屋学芸大学大学院看護学研究科（仮称）が設置された場合、貴事業所所属の看護職に入学を推奨しますか？（あてはまるもの1つにマーク）

- 入学を推奨する 入学を推奨しない 本人の意志を尊重する わからない

問9 設置構想中の名古屋学芸大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程（仮称）について期待される点、要望がございましたらご記入をお願いします。

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。



アンケート回答の前に以下の新研究科の概要をお読みください。



名古屋学芸大学

大学院看護学研究科看護学専攻修士課程

(仮称・2023年4月開設に向け設置構想中)

概要

開設時期：2023年4月
 開設場所：名古屋市中区新栄1-9-6
 修業年限：2年
 入学定員：6名[男女共学](収容定員：12名)
 取得学位：修士(看護学)

養成人材像

【養成人材像】

看護の現象を多角的な視点で捉え、高い倫理観とともに、高度な教育・研究能力や看護実践能力のもと、様々な課題を探究することにより看護学の発展と看護の質向上に貢献できる看護専門職を育成します。

身につける能力

【本課程で身につける3つの能力】

看護研究の理論的基盤と方法論を身につけるとともに、看護の現象を多角的な視点で捉え、様々な課題解決や看護実践のための研究を行うことで、看護学の発展に貢献できる研究能力

科学的かつ体系的な幅広い視点から看護教育をとらえ、看護を学ぶ対象への指導力を高め看護の質の向上に貢献できる教育能力

専門分野の課題に対し、専門的知識と科学的根拠に基づき、高い倫理観とともに多職種との連携や協働を通じて課題解決に貢献できる高度な看護実践能力

領域構成(3領域8分野)

発達看護学領域	母性・助産看護学分野
	小児看護学分野
	成人・老年看護学分野
広域看護学領域	精神看護学分野
	地域・在宅看護学分野
発展看護学領域	災害看護学分野
	看護管理学分野
	看護教育学分野

看護管理学分野で修士の学位を取得すれば、認定看護管理者の資格取得試験を受けることができます。現在管理職でない場合は、修了後3年の師長経験が必要となります。

働きながら学べる大学院

【働きながら学べる大学院】

- (1) 本研究科は、入学者として現職看護職を受け入れる予定です。
- (2) 平日昼間の他に、夜間と土曜日の授業も設定しており、働きながら通学することが可能です。
- (3) 長期履修制度の導入により、最長4年間の在学による履修計画が可能です。
- (4) 名古屋の中心部(新栄)にある都市型キャンパスのため、アクセスが容易です。
- (5) 専門学校や短期大学卒業の看護職の場合、一定期間以上の実務経験等の実績があれば、本学による出願資格の認定を受けることで、本大学院の受験が可能になります。

修了後の進路

修了後は以下のような進路を想定しています。
 病院等医療機関の看護職、看護管理職
 大学等の研究職、看護師等養成学校等の看護教員職
 博士後期課程への進学

学納金

大学院研究科名	入学金	授業料等	初年次納付金(合計)
名古屋学芸大学大学院 看護学研究科修士課程	100,000	955,000	1,055,000
(参考)他の大学院看護学研究科の学納金			
愛知医科大学大学院 看護学研究科(修士論文コース)	300,000	700,000	1,000,000
日本赤十字豊田看護大学大学院 看護学研究科 修士課程	320,000	880,000	1,200,000
日本福祉大学大学院 看護学研究科 修士課程	200,000	950,000	1,150,000

名古屋学芸大学大学院看護学研究科(仮称)の学費は予定のものです。他大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報です。いずれも諸会費を含みません。

アクセス

新栄キャンパス:名古屋市中区新栄1-9-6
 名古屋駅→新栄町駅(7分) 下車徒歩5分



上記の内容は全て構想中の計画であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。